

令和 2 年度 一関保健所事業の実施状況

管理福祉課

1 保健所運営

- 保健所運営協議会（令和 2 年 8 月 4 日）
保健所の所管区域内の地域保健及び保健所に運営に関する事項を審議する。
設置根拠：地域保健法第 11 条、保健所運営協議会条例
委員：19 名（任期 令和元年度～令和 2 年度）

2 病院等医療監視等

- 病院等立入調査
医療法等関係法令に基づき、病院は毎年、病院以外は総数の 1/5 程度の施設に立入調査を実施。
ア 病院：10 病院（10 病院）（書面）
①岩手病院、②県立南光病院、③県立磐井病院、④一関病院、⑤昭和病院、⑥西城病院、
⑦県立大東病院、⑧ひがしやま病院、⑨一関市国民健康保険藤沢病院、⑩県立千厩病院
イ 診療所：135 施設（24 施設）
ウ 助産所：1 施設（0 施設）
エ 施術所：67 施設（11 施設）
オ 歯科技工所：29 施設（6 施設）

3 地域医療の推進

(1) 救急医療・災害医療

- ア 二次救急病院群輪番体制連絡会（令和 3 年 2 月 2 日）
両磐地域における休日及び夜間における救急医療体制を確保する。

構成機関 (12 機関)	一関市医師会、一関保健センター、一関市消防本部、 参加 8 病院（岩手、磐井、一関、昭和、西城、ひがしやま、藤沢、千厩） 事務局（一関保健所）
主な議題	・両磐地域二次救急病院群輪番制当番割一覧表について ・救急搬送状況について

- イ 両磐地域災害医療対策連絡会議（令和 2 年 9 月 30 日）
災害時における医療体制のあり方等について関係機関で協議、情報共有を行う。

構成機関 (8 機関)	災害医療コーディネーター、一関市医師会、一関歯科医師会、一関薬剤師会、 災害拠点病院（磐井）、一関市消防本部、一関市、平泉町 事務局（一関保健所）
主な議題	・令和元年度両磐地域災害医療訓練実施アンケート結果について ・令和 2 年度両磐地域災害医療訓練実施要綱（案）について

ウ 両磐医療圏の災害医療コーディネーター

地震等の自然災害や大規模な事故が発生した場合に、被災地に必要とされる医療が迅速かつ的確に提供するための調整役として、医療救護活動を統括する立場にある医師の中から知事が委嘱する。

(令和3年7月1日現在)

所 属	職・氏名	委嘱期間
県立磐井病院(災害拠点病院)	院長 佐藤 耕一郎	令和3年8月1日 ～ 令和5年7月31日 (予定)
県立磐井病院	副院長 齋藤 桂一	
一関市国民健康保険藤沢病院	外科長 椎名 良直	
県立千厩病院	副院長 塩井 義裕	
一関市医師会	副会長 佐藤 隆次	

エ 両磐地域災害医療訓練 (令和2年11月17日)

災害発生初動時を想定し、管内の医療情報を迅速に収集して関係機関と共有することにより、災害時対応への課題を確認する。

- ・参加機関：17 機関（一関市医師会、一関歯科医師会、一関薬剤師会、病院、消防、行政）
- ・訓練内容：
 - ① 河川が氾濫して病院が床上浸水し、入院患者を搬送する可能性があることを想定。
 - ② 一関保健所に災害対策本部を設置し、広域災害救急医療情報システム（EMIS）により管内医療機関の情報を収集。
 - ③ 情報を衛星携帯電話等で災害医療コーディネーターや関係機関に伝達して調整を実施。

(2) 地域医療

ア 両磐保健医療圏の地域医療を守る懇談会（書面）

当医療圏における地域医療に係る課題を共有しながら、課題の解決に向けたそれぞれの取り組みなどについて意見交換及び検証を行う。

- ・参加機関：32 機関（地域住民代表、医療関係団体、公的医療機関、社会福祉・介護関係団体等）
- ・主な議題：岩手県保健医療計画（2018-2023）の進捗状況について
地域医療構想実現に向けた取組状況について
医療と介護の整合性の確保（追加的需要）への対応方針について

イ 医療職進路選択セミナー

両磐地域における将来の医療従事者（医師、看護師、薬剤師、検査技師、リハビリ職 等）の育成を図るため、管内の中高生が医療職の仕事に興味を持ち、志す動機付けを支援する。

高校生対象	県立千厩病院 (7/29)	28 名参加	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者のプレゼンテーション ・医療従事者とのフリートーク ・情報提供（奨学金制度 等）
	県立磐井病院 (7/31)	中止	
中学生対象	県立磐井病院 (12/5)	中止	
	昭和病院 (12/28)	中止	

ウ 健康づくり出前講座 (令和3年3月3日 興田市民センター 42名参加)

地域住民等を対象に、生活習慣病の予防や医療機関の適正受診等の普及啓発を行うため、地区公民館や職場に保健所職員が赴き、講座（講演）を開催する。

- ・興田地区振興会健康づくり講演会（講師 仲本 一関保健所長）

エ 小児救急医療セミナー (令和2年11月14日 一関保健センター 12名参加)

乳幼児等の保護者の方等を対象に、子どもの急な体調不良時の対処法等の普及啓発を行う。

- ・講演「こんな時どうする？子どもの病院のかかり方」（講師 県立磐井病院 丸山小児科長）

オ 両磐地域医療安全対策研修会（令和2年10月9日 一関文化センター 174名参加）

医療機関における医療安全意識の高揚と医療事故防止等に向けた積極的な取組を促し、地域における医療安全対策の一層の推進を図る。

- ・講演「世界の経験 災害テロ対応からコロナ対応まで」（講師 仲本 一関保健所長）

カ 医療相談

医療に関する相談窓口を設置して苦情や心配ごと相談に対応する。

- ・相談：電話11件、メール1件、来所8件（内容：苦情8件、相談12件）

キ 宮城県・岩手県保健所県際合同連絡会議（中止）

県際5保健所（栗原保健所、登米保健所、気仙沼保健所、大船渡保健所、一関保健所）が広域的な対応が必要な事項についての情報交換により連携強化を図っているが、令和2年度は会議が中止となったため、10月27日に栗原保健所及び登米保健所（所長が気仙沼保健所長を兼務）を訪問し、新型コロナウイルス感染症の対応や患者の発生状況等について情報交換を行った。

4 地域福祉の推進（保健所業務と関連する一関保健福祉環境センター業務）

（1）障がい者福祉

ア 一関地区障害者地域自立支援協議会

障がい者の自立を支援するための協議会や部会等に参画する。

- ・協議会 2回、くらし部会 4回、こども部会 6回、しごと部会 0回

イ ろうあ者・盲ろう者相談員による相談指導

ろうあ者・盲ろう者相談員（会計年度任用職員）により、ろうあ者への相談対応、同行支援、会議やイベント等での手話通訳、手話の普及等を行う。

ウ 障がい者理解出前授業

聴覚障がい者と手話通訳を行う者が学校を訪問し、手話を通して交流することにより小学生に福祉への関心と障がい者への理解を深めてもらう。

- ・管内10小学校で延べ15回開催（令和2年8～9月）、小学4年生を中心に319名受講

（2）地域福祉

ア 一関市・平泉町民生児童委員研修会（令和2年10月20日 一関文化センター 381名参加）

民生委員・児童委員の役割について理解を深め、地域福祉推進の担い手として活動意欲の醸成を図る。

講演 ①「民生委員・児童委員の役割～活動のさらなる充実のために～」

（八戸学院大学健康医療学部 吉田 守美 教授）

②「主任児童委員の役割」（伊師 みゆき 一関市主任児童委員）

イ ひとにやさしい駐車場利用制度の普及

歩行が困難な方で岩手県が定めた要件を満たしている方を対象に、公共施設の車いす使用者用駐車区画の利用対象者を明らかにするための「ひとにやさしい駐車場利用証」を交付する。

- ・令和2年度 新規交付数 85件

ウ ユニバーサルデザイン（UD）の普及

平泉の文化遺産ガイド施設新築に係る意見聴取会に、両磐地域まちづくり探検隊（障がい者団体の代表等で組織、当所が事務局）から参加。

（3）母子・父子・寡婦福祉、児童福祉

ア 母子父子自立支援員による相談指導、資金貸付

母子家庭等の経済的自立と生活意欲を助長するため、母子父子自立支援員（会計年度任用職員）が相談対応するとともに、母子・父子・寡婦福祉資金の貸付を行う。

- ・令和2年度 新規貸付30件、継続貸付29件

イ オレンジリボン街頭キャンペーン

児童虐待防止月間に合わせて、オレンジリボンツリーを一ノ関駅構内に展示する等、子どもの虐待防止について広く呼びかける。

- ・11月 管内2か所

（4）配偶者等暴力防止対策

○ 相談対応

配偶者暴力相談支援センターとして、配偶者等からの暴力（DV）被害者からの相談に対応するとともに、DV証明書交付等の支援を行う。

（5）福祉職の人材確保

○ 福祉職進路選択セミナー（令和2年8月12日 市内の高校1～3年生 32名参加）

将来の福祉従事者の育成確保に資することを目的として、福祉関係職種を志す高校生の動機付けを図り、進路の選択肢として当該職への関心と理解を深めるためのセミナーを開催する。

管内の福祉関係職員（訪問看護師、介護福祉士、障がい者施設従事者、作業療法士、栄養士、保健師）から、それぞれ仕事に対する思いや魅力についてのお話をいただいた。